



家々の前で披露される車切

まちにあふれる笛太鼓の音

～ 市内各神社例祭 ～

5月の田植えが一段落したころ、市内各地で神社ごとの例祭が行われました。8・9日は金浦山神社、15日は八幡神社（平沢）、15・16日は熊野神社、古四王神社（象潟）など、神輿や踊り山車が練り歩きました。

山車を引っ張り神輿を担ぐ若い衆、子どもたちは、疲れも見せず、家々の前では、市民皆が笑顔で行列を出迎えていました。

天候にも恵まれ、車切・神楽の笛や太鼓の音と行列で、まちは活気にあふれていました。



神社の参道を降りて町へ向かう神輿

歓声響く運動会

～ 市内各小学校で運動会 ～



色別対抗リレーでチーム一丸となる生徒たち

4月から5月、市内の各小学校で運動会が行われました。赤・白・黄・緑など色別の組に分かれ、応援合戦、徒競走、親子競技、綱引き、色別対抗リレーなどの競技が行われました。

各組の生徒たちはチーム一丸となり優勝を目指し精一杯頑張っていました。保護者も子供たちの一生懸命な姿にたくさんの声援を送りました。また、学年ごとの踊りや組み体操では会場から惜しめない拍手が送られました。

会場のグラウンドには、生徒たちの歓声と保護者の声援が、一日中響き渡りました。

地域で模範となるマナーの実践を

～ 自転車安全モデル校に指定：仁賀保中学校 ～

5月7日、仁賀保中学校（須藤完校長：358名）が、自転車安全利用モデル校の指定を受け、同校体育館で指定書授与式が行われました。

式では、にかほ警察署の柴田地域交通課長から生徒会生活部会の竹屋匡皓さんが、指定書を受け取り「今まで以上に安全運転を心掛け、交通ルールを守っていきましょう」と全校生徒を代表して決意表明を行いました。

モデル校の指定は、自転車の交通安全ルールの周知と利用マナーの向上による交通事故防止を図ることが目的で、市内では仁賀保高校に続き2校目の指定になります。



生徒を代表して指定書を受け取る竹屋さん

生活を支える新しい試み

～ 「出前商店街」おらほのふれあいべんり市 ～

買い物に不便を感じる高齢者たちなどのために、市商工会が主催する出前商店街が5月から始まりました。今年度中に、市内各地で30回ほど開催される予定です。

第1回目は5月20日、上郷生活改善センターで開催され、主に上郷地区の住民たちが訪れ、買い物と店員たちとのふれあいを楽しみました。「商品が各種あって便利」「対応が親切。お茶を飲みながらゆっくりできた」と好評でした。第2回目は次のとおり開催の予定です。

6月2日(水) 11:00～13:00 小砂川自治会館
(小砂川～大須郷～川袋を巡回するシャトルバス運行)



会話も弾み笑顔で買い物

全国人権擁護委員連合会長表彰

長年に渡る、人権擁護と人権思想の普及啓発活動への功績が認められ、表彰を受けられました。

佐々木 締子さん（百目木）



秋田県知事表彰（遺族援護活動）

長年に渡る、遺族（戦傷病者や戦没者遺族）援護活動への功績が認められ、表彰を受けられました。

村上 勝平さん（関）



(社)日本観光協会東北支部 観光振興事業功労者表彰

佐藤 作男さん
(下浜の町・市観光協会常務理事)

こととして23回目を迎えるトライアスロン芭蕉レースを第1回目から役員として大会を支えるなど、各イベントに関わり地域活性化に貢献してきた功績により、表彰を受けられました。



表彰を受ける佐藤さん(右)

秋田県中学校 春季大会結果



【優勝】

・バレーボール女子（仁賀保中）

